

最新ディーゼルにこれ



LE-3500
クリーン
ディーゼル車
専用

LE-3500(150ml入りボトル)：5,076円



●クリーンディーゼル車用のLE-3500は、塩素フリー+超極圧性能+低摩擦係数を実現した金属表面改質強化剤。最新のクリーンディーゼルエンジンに対応。従来のディーゼルエンジンやスーパーチャージャー、ターボチャージャー過給器への使用も問題がなく、ルブroidは触媒を傷める心配もないのがうれしい

1本!



日本のマチュビチュまでドライブ!



●マツダのクリーンディーゼルは低圧縮比化により、ほぼガソリンエンジンと同等の静粛性を持つ。吹き上がりもスムーズな印象だ。添加後は、その特徴をさらに引き出し、全域で滑らかに。支社のある大阪から兵庫県の竹田城(写真)までは片道100km以上あるが、静かで快適になったアテンザでのドライブは楽ちんに感じた

Earth Tech
LUBROID
SUPER HYBRID METAL
CONDITIONER

アーステック ルブroid スーパーハイブリッドメタルコンディショナー

本誌8月号ではNDロードスター、10月号ではハイエースに添加し、それぞれのジャンルで実力を検証した金属表面改質強化剤のルブroid。今回は近年各メーカーともラインナップを増やしてきたクリーンディーゼルエンジンで、その効果を確かめてみた。

自動車用「ルブroid」代理店 三栄商事株式会社 ☎052-931-3355
文&写真=編集部

適材適所の金属表面改質剤

クルマ好きなら誰もが愛車を大切にしているだろう。新車・中古車問わず気持ちよく走りを楽しむためにコンディション維持には特に気を遣うはず。

オイル自体に添加することによってエンジンや金属部品のスムーズな動きを施すルブroid。今までNDロードスター、ハイエースと検証してきたが、今回は昨今人気のクリーンディーゼル車でその効果をテストしてみた。

もちろん、使用するのにはクリーンディーゼルエンジン用のルブroidシリーズ新製品であるLE-3500。日本のマチュビチュと言われる「竹田城」(兵庫県)を訪ねるドライブに出掛け、行きは添加前、帰りは

添加後で走行フィールの変化をインプレッションしてみた。テスト車はマツダアテンザワゴン2.2Lディーゼル。車両重量1430kgのボディに、最大出力175馬力/最大トルク42.9kgmのスペックを誇る。もともと動力性能的に不満を感じる部分はなく、行きの添加前状態でも、一般道・高速道路ともに気持ちのいい走りを提供してくれた。

そして添加後の帰り道。驚いたのは、エンジンフィーリングの向上だ。ディーゼルエンジンの特性として、低回転から発生するトルクで押し出されるような加速フィールが持ち味だが、添加後はさらにその印象が強くなったのだ。また、高速道路などを走行しているときに多用される1000回転付近での、ディーゼル特有のガラガラとしたエンジンノイズは、添加後にはかなりのレベルで低減されたことも特筆すべき点。

エンジン保護の観点からも、ルブroidは効果が見込める。エンジン内部の摩擦、摺動部分に分子結合皮膜を形成することでエンジン自体の耐久性の向上やオイル自体の劣化も抑制してくれるらしい。マツダのディーゼルエンジンに、相性がよさそうである。効果としては燃費の向上も期待できるそうなので、こちらの検証は今後のお楽しみである。

添加後の効果をぜひ、読者のみなさんも実際に体感してみたい。この秋、11月20日に開催される「お台場旧車天国」<http://www.oldtimer.jp/tengoku/> コルナロードブースが出版決定。ここで販売員が詳しく説明してくれる。その目で確かめてから購入もできるいい機会なので、ぜひ足を運んでみては?